

ゆめ旅 KAIGO!! フォーラム Vol.7

オリパラのレガシーを次世代に伝えるために

ゆめ旅KAIGO! フォーラム実行委員会
〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町 12-1-701

助成事業の概要

当団体は、東京オリンピック・パラリンピック大会終了後においても、ここまで培ってきたレガシー（全国SA・PAバリアフリー調査、バリアフリー旅行の実施、大学生向けボランティアマニュアル作成、書籍発行、人的ネットワークなど）を継承し、発展させていきたいと考えている。その思いから、「ゆめ旅KAIGO! オンラインフォーラム Vol.7」と題したフォーラムを下記の通り企画・実施した

- ・実施日 2022年12月18日（日）
13:00～15:00
- ・テーマ 「みんなで『未来』を語ろう!～大阪、パリ、世界をめざしてゆめ旅は続く～」
- ・参加者（視聴者） 約50名（障害のある人や高齢者、介護・医療関係者、学生、アスリート等）
- ・形式 東京都内のスタジオを中継拠点とし、完全オンライン形式のフォーラムとした。また、出演者は高知、大阪、千葉、アメリカの各地からオンライン参加し、動画紹介も交えて講演、活動レポートなどを実施した。

事業の成果

フリーアナウンサー町亞聖氏の司会進行のもと、約2時間にわたるオンラインフォーラムとなった。メインプログラムとなった「特別企画・パラアスリート対談」では、「ゆめ旅」が縁となっ

た花岡伸和氏・青山結依氏の両名の対談が実現した。花岡氏は車いすバスケットボールの日本代表強化コーチで、東京パラリンピックでは陸上競技のテレビ解説もつとめた。また「ゆめ旅」の学生メンバーとともに、千葉県が主催した東京パラリンピック支援事業を通じて活動を続けてきた。青山氏は「ゆめ旅」の学生メンバーとしてボランティアの中心に関わり、その後、車いすバスケットボール女子の日本代表候補として活躍している。国際大会での経験、競技環境のバリアフリー課題はじめ、2人がめざしているパラスポーツの将来図について対談形式で大いに語ってもらった。

「ゆめ旅」メンバーの各地での活動などを紹介する「全国ゆめ旅レポート」では、まず千葉県市川市内のファーマーズマーケットとのコラボで、店舗に来る子どもや高齢者を対象とした「体験ボッチャ」活動をする大学生ボランティアからの現地レポートがあった。大阪からは、2025年の大阪万博開催に向けて地元商店街や観劇施設のバリアフリー化、高齢者の旅行を支援する「トラベルヘルパー」たちから動画紹介を交えた報告があった。さらに、かつて「ゆめ旅KIDSアンバサダー」として広報活動等にかかわった13歳のドラマー「YOYOKA（よよか）」さんは、現在アメリカに家族で移住し、世界的なアーティストとして大きな注目を浴びている。音楽活動を通じて「国や性別、障害の有無に関係なく活躍できる多様な社会」をめざそうとする彼女の強い意志はゆめ旅の活動にも通じるものがある。「YOYOKA×ゆめ旅」と題した特別企画で、現地アメリカからオンラインで自身の夢、そして「ゆめ旅」や参加

者へのエールをアンバサダー時代からの軌跡を含めたビデオメッセージで紹介した。

こうしてオンラインで国内外の活動を中継で紹介するフォーラムは、延べ20人の出演者と50名の参加者を得て盛況のうちに終了した。

■ 成果の広報・公表

フォーラムの開催案内チラシを作成し、大学や福祉施設、企業等の関係者に配布したほか、団体のSNS (Facebook、Instagram) で開催告知、参加受付を行った。団体メンバーのブログやグループLINEを活用して広報に努めた。

当日のフォーラムのようすや、この日紹介した動画、YOYOKAさんからのメッセージなどは、団体のSNSで後日紹介した。参加者からの感想もあつめ、次回につなげるべく意見の集約を行った。成果報告書も今後関係者に配布・周知する。

■ 今後の展開

参加者からは「オリパラ終了後も活動を続けてほしい」「パラアスリートから夢を聞いてよかった。応援したい」「大阪万博に行きたいので相談したい」といった感想が寄せられた。各地で草の根的に活動をしている人たちの現在地も紹介することができた。前身の一般社団法人の頃も含めてフォーラムはこれで計7回、オンライン形式に切り替えてからは4回の実施に至り、プログラムも「人生2度目のオリパラ生応援」をベースに、観光地バリアフリー調査、「福祉と防災」「トラベルドクター」「パラアスリート対談」などをテーマにした講演、ゆめ旅レポートなど多岐にわたってきた。任意団体となった今年度から運営スタッフの規模が縮小されたが、様々なメディアで活躍するフリーアナウンサー町亞聖氏や、世界的アーティストのYOYOKAさんなどが、当初からゆめ

旅の理念に共感し、活動を後押ししてくれていることは大きな力となっている。こうしたリソースを活用しながら、フォーラムを通じて情報発信、ネットワークの拠点となる役割を果たしていきたい。